

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問と答弁。23名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党

佐々木 心 議員

問 JR駅のホームドア整備を進めるために、誰が費用を負担しているか議論し、社会的な合意がなされるべきと考えるが、市長の所見を伺う。

答 事業者による対応が基本と考えるが、国のホームドア安全性向上のための検討会の動向も注視しながら、関係機関への働きかけなどに努めたい。

○国際姉妹都市等との交流

○有害鳥獣被害対策の強化

わたなべ 拓 議員

問 車両流入倍増をもたらす、イチヨウ並木伐採を伴う広瀬道の道路改良工事は、いったん停止すべき。

答 工事区間は宮城野橋完成によりさらに混雑が予想されるため早期整備の必要がある。○学校給食費の公費計化を

○集中豪雨による法面崩落の懸念箇所選定と対策の進捗

○切れ目のない災害対応のため、憲法に緊急事態条項を

松本 由男 議員

○治山・治水対策のため総合的な雨水対策推進のための雨水

○森林整備計画における雨水対策の考え方

○整備計画中の筑川、高野川、堀切川、谷地堀の河川改修の進捗率の評価

○河川の計画高水流量の見直し

○社会福祉法人に対する本市の関与の在り方

○本市が仙台市社会福祉協議会に期待する役割

やしろ 美香 議員

○大学等を活用し、学習

公明党

佐藤 幸雄 議員

○東京に残る本市ゆかりの藩政時代の遺産等の積極活用

問 児童クラブでの小学4年生の受け入れは、現在利用している小学3年生へアンケート調査を実施し人数の検討をしてほしい。

答 作業スケジュール等の課題もあるため、小学校や運営団体とも検討しながら実施の可能性を検討したい。

○児童クラブ開設時間の拡充

○地域交通網整備は運営に必要な事項をパッケージ化して提案し取り組みの迅速化を

佐々木 真由美 議員

問 色覚障がいへのカラーバリアフリー対応と教職員や保護者への周知について伺う。

答 ガイドラインで広報上の配慮を示している。教職員や保護者の理解は児童生徒の不安解消のため重要であり、今後も養護教諭の研修や保健だより等での周知を行っていく。

○市民の安全安心確保のため側溝整備計画の策定を

○空気応用担架の周知と導入

鎌田 城行 議員

問 活動を経済的に支えるため、仙台ふるさと応援寄附に地域猫支援を掲げ施策推進を。

答 応援寄附活用の検討も含め、より一層市民協働の動物愛護推進に取り組んでいきたい。

○自転車専用レーンの安全確保のため車道に安全通行標示を

○子猫の殺処分ゼロのため哺乳ボランティアの募集と育成を

○自転車保険の加入促進

○押しボタン信号機の改善を

佐藤 和子 議員

問 都市公園内の集会所設置の要望について、早急に基準等を検討し要綱の制定を。

答 公園の果たす多様な役割を踏まえ、他市の事例も参考に柔軟な利用を検討していく。

渡辺 博 議員

指導要領の枠を超えた本市独自の教育を目指すべき。

答 学習指導要領の枠組みを踏まえて、特色ある施策推進に努めつつ、本市の歴史文化、郷土をしっかりと学べるよう力を尽くしていきたい。

○教育委員会制度と重要課題

○教育の点検・評価について

○消費者教育の在り方

○リバーズモーゲージの活用

庄司 俊充 議員

問 七北田川上流域氾濫の危険回避のため、土砂のしゅんせつや川幅拡幅、護岸整備が必要。県と協力し対応を。

答 県が今年度内にまとめる河川整備計画に基づき、早期の改修を原に働きかけたい。

○農作物のインシシ被害対策

○本市農業振興への取り組み

○ごみ減量とバイオマス発電

○パークゴルフ場の整備を

○スポーツを活用した観光推進

高橋 次男 議員

問 名取川の堤防は基礎基礎盤等が不明確で信頼性が低い。特に広瀬川との合流地点は大雨時では流れの負荷がかかり危険である。堤防の質的整備を強く国に要望すべき。

答 平成24年から継続して要望しているが、今後とも早期の整備完了に向け強く働きかけていきたい。

○博物館での借用資料適正管理

○図書館の開館時間等の改善

西澤 啓文 議員

問 1人暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で継続して安定した生活が送れるような支援体制づくりに向け、本市は今後どう取り組むか伺う。

答 他自治体の先進的事例を参考に、高齢者等が安心して暮らすことができるよう、引き続き重層的な見守り体制の構築に取り組んでいきたい。

○交通指導隊の定年延長を

○訪問販売トラブル対策強化

一般質問

審議の概要

環境等氾濫想定区域への対応

○都市計画道路の進捗状況と今後の計画見直しについて

○屋外広告物の安全管理は本市の積極的な取り組みが必要

○国保運営上の社会的弱者への配慮と都道府県化への対応

○自転車事故防止の啓発と自転車保険加入促進の努力を

○官民連携による防犯体制で市民の安全安心の確保を

○特別自治市の推進には近隣自治体との信頼関係が必要

野田 謙 議員

問 ラグビーW杯キャンプ誘致断念の答弁には失望した。誘致に対する市長の考えを伺う。

答 共同受け入れを県などと協議しており、申請期限までしっかりと取り組んでいく。

○橋梁やトンネル等の長寿命化

○道路の側溝は、ふたのない安全な暗渠側溝に更新を

○イスクラを活用した営業展開

○北海道・東北の若者を呼び込む受け皿づくりの推進



北海道までつながった新幹線「J R北海道H5系 (提供: J R北海道)」

市民フォーラム仙台

沼沢 しんや 議員

問 「せんだいリノベーションまちづくり計画」に基づく民間主導のまちづくりを進めるため、行政の役割の明確化や全庁的な連携を図るべきと地域の課題解決を担う人材を育成するとともに、組織横断的な対応に取り組むたい。

○無料Wi-Fi環境の整備

○国が新たに指定した家屋倒壊等氾濫想定区域への対応

○茨川樋門への排水ポンプ整備

加藤 けんいち 議員

問 助言・指導後も改善されない「特定空家等」への、助言までの具体的手順を示すべき。

答 助言に至るまでの事前の助言・指導の回数や期間等の具体的基準を定め、近日中に運用を開始する予定である。

○避難所開設基準と運営の課題

○ガスの利益につながる民営化

○市民の利益にのみならず全体としての教員の業務負担軽減を

○子どもに貧困の連鎖防止のため、学習・生活サポート事業は必要を予算措置を講じ、より開かれた取り組みに

○無届けの介護施設の実態把握と施設を取り巻く現実を踏まえた丁寧な柔軟な対応を

○町内会の存続支援の取り組み

○市議選・市長選の土曜日投票・日曜日開票への変更を

○係長職昇任試験の受験率低下

○仙台空港着陸料を巡る問題



品川区の大井公園に設置されている仙台藩下屋敷跡の石碑

木村 勝好 議員

問 地下鉄南北線の名取市への延伸は、本市の交通事業としては実現不可能ではないか。

答 本市として延伸の計画はなく、まずは名取市で議論されるものと認識している。

○本庁舎の建て替え・改修の方向性は年度内に明確化を

○集団移転跡地の今後の利活用に向けた取り組み

市民フォーラム仙台

審議の概要

総務財政委員会

委員長 加藤 和彦

付託された議案番号 (第115・117・118・131・132号・議第6号)

副委員長 相沢 和紀

付託された議案番号 (第115・117・118・131・132号・議第6号)

問 付託された財政調整基金条例等の一部を改正する条例ほか5議案のうち、第117号議案は賛成多数で、第115号議案、第118号議案、第131号議案および第132号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものとし、議第6号は

問 債権管理の適正化を進めることができ、より一層公正公平な市民負担を減らすことができると考える。

市民教育委員会

委員長 高橋 次男

付託された議案番号 (第121・123号・第4号附題)

副委員長 加藤 けんいち

付託された議案番号 (第115・119号)

問 べきものと決定しました。

答 債権管理の適正化を進めることができ、より一層公正公平な市民負担を減らすことができると考える。

健康福祉委員会

委員長 佐藤 わか子

付託された議案番号 (第115・119号)

副委員長 菊地 崇良

問 子ども医療費助成制度の所得制限を全て撤廃した場合の経費

○保育所の民営化方針と待機児童対策

○保育所等の配置の考え方

○市名坂児童館の児童クラブの現状

○その他の主な質疑項目

○生活保護業務等に係る不適切な事務処理について

経済環境委員会

委員長 小野寺 利裕

付託された議案番号 (第114号)

副委員長 やしろ 美香

問 容器的な適正な数量の配置

○ごみ減量・分別推進キャンペーンにおける若者向け「ワケアツプ!! キャンパス」の現在の状況と今後の取り組みについて

○「いかにす」都市ガス2016仙台市ガスフェア」のキヤッチコピーについて

都市整備建設委員会

委員長 跡部 薫

付託された議案番号 (第120・122・124・130・133号)

副委員長 佐々木 真由美

問 中山とびのこ公園は二つの大きな広場を有しており、今回円形広場の半分を保育所として使用するが、多目的広場等ほとんどの公園施設は従前どおり残るため大きな支障はない。

答 中山とびのこ公園内における保育所建設後の空き地の確保については、どのように考えているのか。

輝く仙台

柳橋 邦彦 議員

問 震災復興の途上で、音楽の持つ圧倒的な癒やしやの姿を学んだ。音楽ホールは20世紀の残像として引きずった「積み残し」を造るために、何うの力はないと考えるが、伺う。

答 文化施設の持つ諸機能にとどまらず、新たな「音楽の力」を未来に向けて考えていくためにも、音楽ホールは重要と受け止めており、今年度末までには方向性を判断する。

社 民 党

ひぐちのりこ 議員

問 虐待等困難を抱える児童生徒の把握と性被害等から身を守る教育が不可欠だが何う

○学校の様子や家庭への連絡等により把握し、心のケアと安全安心を第一に対応する。

○市長の政治手法と市民協働

○遊びの環境を保障する復興を

○JKビジネスの実態調査と学校でその影響等学ぶ機会を

○性暴力被害者への支援と加害者にならないための教育

社 民 党

伊藤 ゆうた 議員

問 視覚障害者の日常生活用具としてタブレット端末とア

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

● **計画高水流量(注1)** (4面1段) 流域に降った雨がそのまま川に流れ出た場合の流量から、ダム等による洪水調節の量を差し引いて、川を流れる流量。計画高水流量が川に流れた時の水位を計画高水位と言い、堤防や護岸の設計の基本となる。

● **リバーズモーゲージ(注2)** (4面2段) 高齢者が自宅等の不動産を担保にし、金融機関等から一括または年金の形で融資を受け、本人の死亡など契約終了時に担保にしていた不動産を売却することで一括返済する仕組み。

● **カラーバリアフリー(注3)** (5面1段) 色の区別がつきにくい色覚障害者等のために、印刷物や施設内の案内表示などにわかりやすい配色を使うことで、色覚の障壁(バリア)を解消し、情報を早く正確に伝えようとする配慮のこと。

● **JKビジネス(注4)** (5面3段) 法律上の定義はないが、主として女子高校生等をして、男性等に対し個室で添い寝やマッサージを行わせたり、会話やゲームの相手させたり、屋外で一緒に散歩させるなどのサービスを提供する営業のこと。

● **オリンピック・レガシー(注5)** (5面4段) オリンピック・パラリンピック競技大会の後に引き継がれていく有益な遺産のこと。各種施設やインフラの整備、スポーツ振興など、大会の開催を契機として、社会に生み出される持続的な効果を指す。

● **異門(注6)** (6面1段) 仙台城三の丸の南側に位置する門のこと。昭和20年の空襲で焼失した。

● **将来負担比率(注7)** (6面5段) 借入金など自治体が現在抱えている負債の大きさを、その自治体の財政規模に対する割合で表したものの。自治体財政健全化法に基づき、自治体の財政の健全度を測る指標の一つ。この比率が高いと、将来的に財政が圧迫される可能性が高くなる。

● **フィーター化(注8)** (7面1段) パス等により、幹線公共交通機関の駅・バスターミナル・空港ターミナルと連絡させること。ここでは、バス路線を東西線の駅に結節する形にしたこと。

● **3歳の壁(注9)** (7面4段) 0～2歳児向けの保育施設に子どもを預ける保護者が、3歳以降の預け先探しに苦労する状況のこと。

● **不明水(注10)** (7面4段) 分流水下道に流入する下水量のうち、下水道料金等で把握することが可能な有取水量以外の下水水量のこと。浸入経路や発生原因の違いから「雨天時浸入水」、「地下水浸入水」、「その他不明水」に分類される。

● **政策的医療(注11)** (7面6段) 救急医療や感染症医療など、それ自体では採算性の確保が困難であるものの、市民にとってなくてはならない重要な分野の医療のこと。